

⑥【新潟県厚生農業協同組合連合会 村上総合病院】

住 所	〒958-8553 新潟県村上市緑町5-8-1		病床数：263床
診療科目	内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科		
研修責任者名	林 達彦（病院長）	連絡先：murakami_kensyu@mgh.jp 0254-53-2141（代表）	連絡先担当者名：石栗・山貝 （臨床研修センター）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：1人、24年度：2人、25年度：2人、26年度：2人、27年度：1人、28年度：1人、29年度：0人、30年度：0人、令和元年度：0人、令和2年度：0人、令和3年度：0人、令和4年度：1人、令和5年度：3人		
	研修受け入れ可能診療科	学会認定専門医数	学会認定指導医数
	必修：内科（消化器、循環器、呼吸器、腎臓）、外科（一般、消化器）、小児科、産婦人科、麻酔科、総合診療救急 選択研修：脳神経外科、泌尿器科、整形外科、眼科	総合内科専門医3人、呼吸器学会専門医1人、消化器学会専門医・消化器内視鏡学会専門医2人、外科学会専門医・消化器外科学会専門医3人、産婦人科学会専門医3人、麻酔科学会専門医1人、脳神経外科学会専門医・脳卒中学会専門医2人、泌尿器学会専門医1人、整形外科専門医1人、眼科学会専門医1人	消化器学会指導医1人、がん治療認定機構暫定教育医2人、外科学会指導医・消化器外科学会指導医2人、泌尿器学会指導医1人、臨床腫瘍学会暫定指導医1人、産婦人科学会指導医1人、緩和医療学会暫定指導医1人
施設の概説・特徴			
令和2年12月開院の、ほとんど全ての設備が新しい施設です。新潟県は下越の二次医療圏の中でも最北端に位置し、主に心不全・肺炎・尿路感染症・大腿骨近位部骨折といった高齢者が大半を占める疾患にしっかり対応し、地域の中核病院との連携を密にしています。また屋上にヘリポートを、敷地内に救急ワークステーションを備えて24時間365日の救急体制を整え、DMATを含めた災害拠点病院としても機能しています。対照的にテレビ電話を用いた粟島遠隔診療支援を古くから築くなど、後方施設との連携をアクティブにし、地域の保健・福祉に貢献する役割を担っています。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
どの診療科も、病棟管理が中心となります。総合ER部門では、研修医2人でペアを組み、内科初診外来と内科ウォークイン救急患者および救急車対応を分担します。			
研修の概説と特徴			
全人的な診療にあたる地域医療スペシャリストの育成を目的とし、脳神経外科・泌尿器科・整形外科といった診療科のプライマリーケア的知識・技術を研修することも必須と考えて、スケジュールに組み込んでいます。			
研修医の当直			
基本的に希望者のみ、上級医とペアでの当直となります。全診療科当直であり、労働規定は遵守されます。			
処 遇			
<ul style="list-style-type: none"> ●給与：1年次月額基本給350,000円、当直手当19,400円/回、時間外手当（厚生連規定により支給） 2年次月額基本給370,000円、当直手当19,400円/回、時間外手当（厚生連規定により支給） ●研究費：年間100,000円 ●食事：弁当注文可。院内にコンビニもあります。 ●宿舍：借り上げ住宅あり（月額50,000円まで病院が負担）。 ●居室：研修医専用室あり。個人ブースに分かれています。 ●図書・文献：WEB検索・学習システム（UP TO DATE、メディカルオンライン、Clinicalkey、医中誌Web、今日の臨床サポート）利用可能。 ●インターネット環境：各自のデスクから接続可能です。WIFI環境は良好です。 			

⑥【新潟県厚生農業協同組合連合会 村上総合病院】

住 所	〒958-8553 新潟県村上市緑町5-8-1		病床数：263床
診療科目	内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科		
研修責任者名	林 達彦（病院長）	連絡先：murakami_kensyu@mgh.jp 0254-53-2141（代表）	連絡先担当者名：石栗・山貝 （臨床研修センター）
新臨床研修医指導実績	・新潟大学臨床研修病院群研修プログラム採用 平成23年度：1人、24年度：2人、25年度：2人、26年度：2人、27年度：1人、28年度：1人、29年度：0人、30年度：0人、令和元年度：0人、2年度：0人、令和3年度：0人、令和4年度：1人、令和5年度：3人		
	研修受け入れ可能診療科	学会認定専門医数	学会認定指導医数
必修：地域医療		総合内科専門医3人、呼吸器学会専門医1人、消化器学会専門医・消化器内視鏡学会専門医2人、外科学会専門医・消化器外科学会専門医3人、産婦人科学会専門医3人、麻酔科学会専門医1人、脳神経外科学会専門医・脳卒中学会専門医2人、泌尿器学会専門医1人、整形外科専門医1人、眼科学会専門医1人	消化器学会指導医1人、がん治療認定機構暫定教育医2人、外科学会指導医・消化器外科学会指導医2人、泌尿器学会指導医1人、臨床腫瘍学会暫定指導医1人、産婦人科学会指導医1人、緩和医療学会暫定指導医1人
施設の概説・特徴			
令和2年12月開院の、ほとんど全ての設備が新しい施設です。新潟県は下越の二次医療圏の中でも最北端に位置し、主に心不全・肺炎・尿路感染症・大腿骨近位部骨折といった高齢者が大半を占める疾患にしっかり対応し、地域の中核病院との連携を密にしています。また屋上にヘリポートを、敷地内に救急ワークステーションを備えて24時間365日の救急体制を整え、DMATを含めた災害拠点病院としても機能しています。対照的にテレビ電話を用いた粟島遠隔診療支援を古くから築くなど、後方施設との連携をアクティブにし、地域の保健・福祉に貢献する役割を担っています。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
当院地域医療研修の中心は内科です。当院基幹研修医とペアを組み、内科の初診外来とウォークイン救急対応において問診・身体診察からの検査オーダーリング・初期対応を指導医の監督下のもとに単独で行い、診断と治療へ結びつける流れを鍛錬します。ペアの片方は救急車対応を担当します。午後は内視鏡あるいは超音波検査の実践を組み合わせ、技術習得にも重点をおきます。 病棟では、多数の併存疾患を持つ患者さんを担当し、退院支援を中心にファーストの担当医として方針を決めていきます。 週に1度は、近隣クリニックの訪問診療に同行します。 その他希望により、様々な診療科のローテートも可能です。話し合いと振り返りで内容を決めていく、オーダーメイドの地域医療研修となります。			
研修の概説と特徴			
全人的な診療にあたる地域医療スペシャリストの育成は国家全体の課題であり、当院の基本概念であります。大学のような高度医療を担う施設では研修が困難とされる、一般外来研修、退院間近の病棟患者担当をメインとします。繰り返しますが、全体を通じてファーストタッチ、技術の習得といった実習主体の研修となります。			
研修医の当直			
基本的に希望者のみ、上級医とペアでの当直となります。全診療科当直であり、労働規定は遵守されます。			
処 遇			
<ul style="list-style-type: none"> ●給与：1年次（月額基本給）350,000円、当直手当19,400円／回、時間外手当・（厚生連規定により支給） 2年次（月額基本給）370,000円、当直手当19,400円／回、時間外手当・（厚生連規定により支給） ●研究費：年間100,000円 ●食事：弁当注文可。院内にコンビニもあります。 ●宿舎：借り上げ住宅あり（月額50,000円まで病院が負担）。 ●居室：研修医専用室あり。個人ブースに分かれています。 ●図書・文献：WEB検索・学習システム（UP TO DATE、メディカルオンライン、Clinicalkey、医中誌Web、今日の臨床サポート）利用可能です。 ●インターネット環境：各自のデスクから接続可能です。WIFI環境は良好です。 			